



令和2年度

茨城県優良図書

中学生向け

※金額は全て税抜き表示です。

『みかん、好き?』

魚住直子 著

(講談社) 1,400円



西村拓海の前に現れた長谷川ひなたは、拓海の祖父が作るみかんに感動して東京からやってきた。みかん作りをきっかけに、不思議な友情が生まれていく。

『十四歳日和』

水野瑠見 著

(講談社) 1,400円



中学2年の教室を舞台に、男女4人の生徒を主人公にした人間関係が描かれる。友達グループ、異性の相手、SNS、勉強のライバルなど、自分のクラスで起きているようで…。読むと元気が出る物語。

『朔と新』

いとうみく 著

(講談社) 1,500円



事故に巻き込まれ視力を失った兄と、事故の原因を作ってしまった弟。長距離走者として注目を浴びていた弟は、走ることをやめた。そんな弟に兄は言う。「伴走者になってほしいんだ、俺の」と。ブラインドマラソンに挑む兄弟の物語。

『きみの存在を意識する』

梨屋アリエ 作

(ポプラ社) 1,500円



クラスの中には、様々な困難を抱えている生徒がいる。発達性読み書き障害、LGBTQ、臭いの過敏症…。彼らが織りなす葛藤と成長の物語。

『リスタート』

ゴードン・コーマン 著 / 千葉茂樹 訳

(あすなる書房) 1,600円



記憶をなくした13歳の少年チェースの、マイナスからの自分探しの物語。ある日目覚めたら、自分が誰なのかわからない。新しい人生を歩み始めたチェースに次々と襲いかかる葛藤や事件。そして、すこしずつよみがえる記憶。はたしてリスタートはうまくいくのだろうか。

『「空気」を読んでも従わない』

鴻上尚史 著

(岩波書店) 820円



学校で、会社で、社会で“生き苦しさ”を感じる人への最高の処方箋。「社会」と「世間」という言葉で私たちが普段気にしている周囲との付き合い方を解説し、どうしたら「生きやすくなる」のかを示してくれる作品。

『アドリブ』

佐藤まどか 著

(あすなろ書房) 1,400 円



イタリアの小さな町に暮らす少年ユージの友情あふれる青春音楽小説。音楽が好きな人や音楽、スポーツなどに熱中している人は共感できるところが多い作品。

『泣いたあとは、新しい靴をはこう。』

日本ペンクラブ 編

(ポプラ社) 1,500 円



ティーンズの抱えるコンプレックスや心、家族関係、いじめ、性の悩み、進路…。様々な疑問や不安などの悩みに、日本ペンクラブの作家が言葉をもって向き合う。

『徳治郎とボク』

花形みつる 著

(理論社) 1,400 円



4歳から小学6年までのおじいちゃんとボクの物語。おじいちゃんは、かなりの頑固者。そんなおじいちゃんがガキ大将だった話を聞くうちに、ボクは子どもの頃のおじいちゃんが大好きになっていく。

『窓』

小手鞠るい 作

(小学館) 1,400 円



主人公のもとに届いたオレンジ色の封筒には、母親が仕事や家族のことを書いた記録ノートが入っていた。幼いころに別れた母親の残したノートから、主人公とともに世界に目を向けることができる。

『「死ぬんじゃねーぞ!!」』

中川翔子 著

(文藝春秋) 1,200 円



「いじめられている君はゼツタイ悪くない。」いじめられて不登校になった中川翔子が「死にたかった夜」の先に見つけた気持ち。いじめで傷つき悩んでいるあなたへ贈る力強いメッセージ。文章と漫画で、繰り返し「死ぬんじゃねーぞ」と励ましてくれる作品。

『自分の力で肉を獲る』

千松信也 著

(旬報社) 1,500 円



京都大学在学中に狩猟免許を取得し、伝統の「くくりわな猟」、「むそう網猟」を学び、働きながら京都の山で猟を行っている筆者。筆者であり猟師の千松信也による「野生への手引き書」。写真、イラストが豊富でわかりやすい作品。

このチラシに掲載された図書は、原則として、平成31年4月1日以降令和2年3月31日までに出版された図書で、図書館司書、読書団体、出版社等から推薦のあったものの中から「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」の規定に基づいて推奨したものです。

図書を選ぶ際の参考として御活用いただければ幸いです。

○お問い合わせ先

茨城県保健福祉部子ども政策局青少年家庭課 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL 029-301-2183